

あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.158 2008.9.1

ソルトレークシティ姉妹提携50周年記念特別展

半世紀の 歩みと絆

2008年9月6日(土)・28日(日)

午前8時30分・午後5時 入館は午後4時30分まで

観覧料／大人200円(180円) 小人100円(90円) **会期中無休**
会場／松本市立博物館 ()内は20名以上の団体料金

[主催] 松本市・松本市教育委員会

[共催] 松本市ソルトレークシティ姉妹提携委員会

[後援] 報道機関各社



10周年記念公式訪問団(1968)



20周年記念松本市民訪問団(1978)



国際姉妹都市フォーラム(1987)



40周年記念松本市民訪問団(1998)



50周年記念松本市民訪問団(2008)



ソルトレークシティの夏景色

もくじ

特別展のお知らせ ◇ ソルトレークシティ姉妹提携50周年記念特別展

「半世紀の歩みと絆」…………… 2-3

「みそ」の話 ～味噌汁の歴史～ …………… 3

ガイドコーナーはんでんぼく …………… 4

ソルトレークシティ姉妹提携50周年記念特別展 「半世紀の歩みと絆」

はじめに

昭和33年（1958）11月29日松本市において松本市とソルトレークシティの姉妹提携記念式典が行われました。このとき、マッカーサー駐日大使代理として出席した名古屋アメリカ文化センター館長スチュアート・J・ボハセック氏から、アメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク市長のメッセージの伝達と黄金の鍵が降旗徳弥市長に贈られ、両市はこの契りを機に姉妹都市としての交流が始まりました。



姉妹提携成立の式典にて

今年2008年、松本市はソルトレークシティと姉妹提携50周年を迎えることから、特別展「半世紀の歩みと絆」を開催することになりました。

1 展示のあらすじ

半世紀の歩みを、両市の交流年表と証となる品々約40点、ユタ日報の活版と原本などを中心に紹介します。



ユタ日報

ユタ日報最終号の活版

2 歩みの証の品々

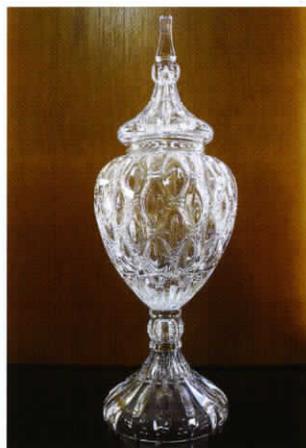
黄金の鍵、名誉市民認証書、松本商工会議所創立100周年記念クリスタルの器、先住民族（インディアン）の飾り物、カウボーイの銅製置物、冬季五輪のスタンドグラス、トナカイの置物、グレートソルトレークや、ソルトレーク市庁舎の絵画などです。なかでも、死海に次いで世界で2番目に塩分（海水の約8倍）の多い湖から作られた塩の塊は、とてもユニークです。



1958年ソルトレークシティから贈呈された黄金の鍵



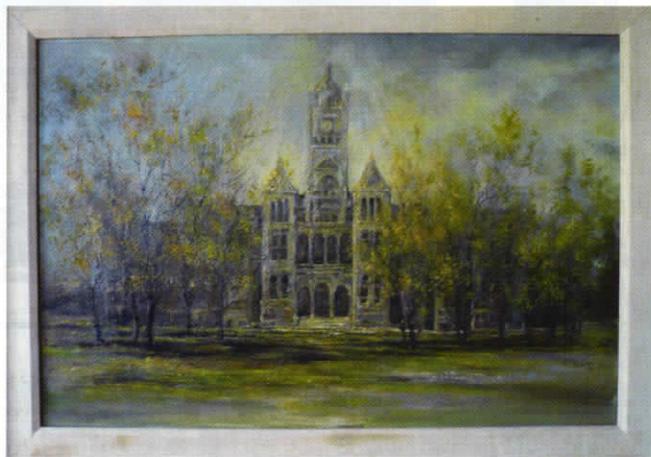
降旗徳弥市長
名誉市民認証書



松本商工会議所創立100周年を祝うためソルトレークシティ商工会議所から贈呈されたクリスタルの器



姉妹提携40周年記念式典で公式訪問団に贈呈された先住民族の飾り物



姉妹提携20周年記念式典で公式訪問団に贈呈されたソルトレーク市庁舎の絵画

3 友情の絆

昭和52年(1977)ソルトレークシティと友好を深めていくため、松本市姉妹提携委員会が設立され、次世代を見据えた活動を進めていくことになりました。

半世紀の時を経て、市と提携委員会が一体となった官民協同の活動が実を結び、両市民間の友好と相互理解が深められております。

折りしも、ソルトレークシティは、全米組織である「国際姉妹都市協会」から昭和44年、昭和56年、昭和58年と3回にわたり表彰されています。これは松本市との友好親善交流が活発であると評価されたもので、アメリカにおける「ソルトレークシティと松本市」の姉妹提携関係は、全米的にも高い評価を得ています。

姉妹提携委員会の主催により毎年始まった「国際生活スクール」は今年28回目を迎えました。この

様に継続できるのも、受入先のソルトレークシティの皆さんが献身的な対応をさせていただいたからにはほかなりません。

おわりに

今回の特別展は、ソルトレークシティと松本市の姉妹提携をざっと振り返ってみました。そのなかで、今後の交流に思いをはせていただければと思います。

秋の一日、ぜひご来館ください。

(館長補佐 / 川村 修)

参考文献

「姉妹提携35周年を迎えて」 本郷文男
「広報松本」
「松本市国際関係資料」
「松本市ソルトレークシティ姉妹提携委員会総会資料」

1993年
2008年5/1号
2007年
2008年

特別展「信州と味噌」によせて [会期]10月11日(土)▶11月19日(日) “みそ”の話 ～味噌汁の歴史～

毎日の食卓に欠かせない味噌汁は日本人が発明した汁物です。日本で1,300年の歴史を持つ“みそ”は中国で生まれましたが、本家の中国には、みその生食はありますが、味噌汁はありません。味噌料理の代表ともいえる味噌汁の歴史について紹介します。

味噌汁が作られ始めたのは、鎌倉時代(13世紀)からです。この時代にはまだ高級品であった味噌は、禅宗の僧侶や上流武家社会で好んで食べられていました。しかし、現在のような調味料としてのみそとは若干異なり、この頃のみそは、“粒みそ”(納豆を乾燥させたようなもの)と呼ばれるもので、“なめみそ”(そのまま食べる食品としての要素の強いみそ)としてそのまま食べていました。

しかし、味噌料理が進歩してくると、粒みそでは不便(充分にこす作業が必要なため)になってきます。そこで登場するのが“すり鉢”です。このすり鉢によって初めて粒みそをすりつぶした“こしみそ”が作られ、粒みそと違って水によく溶けるこしみそを、味噌汁として利用しました。補足になりますが、なめみその製法を中国の宋から日本に伝えたのは、無本覚心(1207～98)という鎌倉時代に松本市神林に生まれた高僧です。

粒みそをすり鉢でするといふ発明は、当時非常

に関心を持たれたことであつたらしく、鎌倉時代の生活を描いた風刺画の中に、女がすりこ木を使っている絵がみられます。また、この発明は、食べる側にとっても一大革命だったことでしょう。それまでは、おかず的に食べられていた“みそ”が、汁物として加わったのです。いまでは粗食の代名詞のように使われる「一汁一菜」も、当時の味噌は高級品であったわけですから、一汁にさらに一菜(おかず)を添えた膳は立派な料理だったことでしょう。

このようにして、今日私たちが一日一回は吸いたくなる味噌汁は誕生しました。朝一杯の味噌汁に私たち日本人の生活の知恵が凝縮されているのです。



「味噌炊きで作られた味噌だま」
かつては高級品であった味噌も現在では一般の家庭でも作られるようになった。

(松本市立博物館 学芸員 / 一ノ瀬 幸治)

参考文献

「信州味噌の歴史」 長野県味噌工業協同組合連合会
「むかしからのうまいもん」 松本大学
「みそ知り博士のQ&A100」 みそ健康づくり委員会

1966年
2007年
1993年

9月21日は松本市博物館の日

松本市の博物館は明治39年9月21日に誕生しました。この日を記念して、松本まるごと博物館全館が無料開館となります。

松本市立博物館から ☎0263-32-0133

特別展「信州と味噌」

会期 10月11日(土)～11月19日(日)

旧開智学校から ☎0263-32-5725

特別展「戦争中の子どもたちⅡ」展

会期 9月1日(月)～11月30日(日)
 場所 旧開智学校校舎1階特別展示室
 観覧料 通常観覧料(大人300円、小中学生150円)
 内容 昭和18年、開智国民学校創立70周年を記念して子どもたちが絵を描きました。開智小学校の来し方を振り返りながら、平和を祈念して当時の子どもたちが描いた絵を展示します。

考古博物館から ☎0263-86-4710

秋季企画展「ものから探る縄文人の交流」

会期 9月6日(土)～11月24日(月)
 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
 月曜休館(休日の場合は翌日)
 場所 考古博物館 第2展示室
 観覧料 大人200円
 中学生以下無料 ※常設展示を含む

松本民芸館から ☎0263-33-1569

企画展「松本平の民芸作品展」

会期 9月9日(火)～11月16日(日)
 講演会 9月21日(日)
 午後1時～午後3時
 講師 田中雍子氏(民芸研究家)
 受講料 通常観覧料
 (大人300円、中学生以下無料)

体験講座 SPレコードコンサート

日時 10月19日(日)午後1時～午後3時
 聴講料 通常観覧料
 (大人300円、中学生以下無料)

歴史の里から ☎0263-47-4515

草木染め体験

日時 9月6日(土) 桜の葉
 10月4日(土) マリーゴールド
 各日とも 午前10時～午前11時
 定員 10名
 受講料 1,000円
 持ち物 染めたい布類1点(綿、麻、絹など)
 *歴史の里で購入もできます
 エプロン、ゴム手袋、ビニール袋(持ち帰り用)
 申込み 3日前までに歴史の里へ

裂き織り体験

日時 9月11日(木)、25日(木)、10月23日(木)
 午前の部 午前10時～正午
 午後の部 午後1時～午後3時
 定員 午前・午後とも各10名
 受講料 ティッシュケースがつくれるサイズ 500円
 ペンケースがつくれるサイズ 1,000円
 持ち物 はさみ・裂き織りにしたい布(お持ちでしたら)
 申込み 3日前までに歴史の里へ

あとがき

この夏、時計博物館では特別展「電話のある暮らし100年」を開催しました。ダイヤル式の電話をかけてみよう! という体験コーナーでは、ダイヤルのかけ方がわからない子供たちがかなり大勢いてビックリ。昔の道具で新鮮な体験をしていたようでした。(Y.T)

時計博物館から ☎0263-36-0969

企画展

**國學院大學 学びへの誘い
「神話から「古事記」へ」**

会期 9月20日(土)～28日(日)
 ※9月22日(月)は臨時開館
 会場 時計博物館 3階企画展示室
 観覧料 無料(ただし常設展は有料)
 内容 國學院大學図書館が所蔵する貴重な古典籍を展示公開します。

山と自然博物館から ☎0263-38-0012

鳴く虫観察会

日時 9月14日(日) 午後6時～午後8時
 集合 午後6時 山と自然博物館
 会場 松本市 アルプス公園
 対象 一般及び小学4年以上
 募集 30人(定員になり次第締め切り)
 持ち物 懐中電灯・防寒着・防虫スプレー
 雨天の場合は雨具
 受講料 100円
 講師 小林正明氏
 内容 初秋の夜、アルプス公園では多くの虫が鳴いています。
 どんな虫が鳴いているのか、「虫の調べ」を聞いてみませんか。

重文馬場家住宅から ☎0263-85-5070

お茶席の会

日時 第6回/9月21日(日) 午前10時～正午
 おしゃれ茶道の会(裏千家)
 第7回/10月19日(日) 午前10時～正午
 松風の会(表千家)
 会費 通常観覧料
 (大人個人300円、中学生以下無料)

お月見コンサート

日時 9月14日(日) 午後7時～
 鑑賞無料
 内容 地元内田地区のサークルによる
 大正琴の演奏や日本舞踊など

旧制高等学校記念館から ☎0263-35-6226

第66回サロンあがたの森

テーマ 老人と痛み
 一腰が痛い、膝が痛いー
 じゃあ、どうする
 話題提供者 森健躬(松本高卒・整形外科医)
 日時 10月11日(土) 午後1時30分から
 会場 あがたの森文化会館1-5
 受講料 無料

窪田空穂記念館から ☎0263-48-3440

企画展「子どもの情景」

会期 9月27日(土)～11月24日(月)
 観覧料 通常観覧料
 (大人個人300円、中学生以下無料)
 内容 子どもを題材にした空穂の短歌と旧安曇村出身の加藤大道の版画、空穂と交流のあった童謡作詞家の作品を展示します。

短歌講座

期日及び講師

日程	時間	主な講師
9月14日(日)	午後1時40分	橋本 喜典氏
10月 5日(日)	午後3時40分	来嶋 靖生氏

場所 窪田空穂生家

受講料 各1,500円

伝統文化こども教室

期日及び講師

分野	主な講師	日程	時間
空穂囲碁教室	藤澤一就八段	10月11日(土)	午前10時10分
空穂将棋教室	石川陽生七段	10月4日(土)	正午
	勝又清和六段	11月8日(土)	

場所 窪田空穂生家(10月の将棋のみ情報創造館)

受講料 無料

申込み 各教室の実施当日まで

「松本の子ども短歌・2008」短歌募集

募集期間 10月31日(金)まで
 対象 市内小中学校及び盲・ろう・養護学校在学の児童・生徒
 応募方法 規定の応募用紙に記入して、学校単位で窪田空穂記念館へ提出
 入賞発表 平成21年2月
 作品展 平成21年3月
 その他 応募者全員に作品集を差し上げます。

安曇資料館から ☎0263-94-2134

見学会「超火山・槍穂高連峰の謎を解く(2)ー巨大噴火の火山灰を追ってー」

日時 9月17日(水) 午前8時～午後5時
 ※安曇支所集合解散
 講師 原山 智
 (信州大学理学部・山岳科学総合研究所 教授)
 定員 20人
 参加料 保険・資料代200円、昼食代実費
 申込み 9月9日(火) 午前9時から電話で安曇資料館地域資料室(TEL.94-2609)へ。
 URL: <http://www.matsu-haku.com>
 内容 “超火山” 槍・穂高連峰は過去に巨大噴火を起こしました。その痕跡を追って、松本盆地周辺を西から東へとめぐります

企画展「上高地の80年

ー名勝・天然記念物指定80周年ー」

会期 ～11月15日(土)まで
 会場 安曇資料館 2階展示室
 観覧料 大人100円、小人50円(常設展示と共通)

あなたと博物館 No.158

発行年月日/平成20年9月1日 編集・発行/松本市立博物館
 〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133
 URL: <http://www.matsu-haku.com>
 e-mail: mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp 印刷 川越印刷株式会社